

創立60周年に向け 14項目の協力要請

大成ロテック安衛環境 協力会連合会が役員会

大成ロテックの安全衛生環境協力会連合会（小島久夫会長）は、東京都新宿区の同社本社ビルで秋の役員会を開いた。写真。本部と全国各支部から43人が参加した。

冒頭、あいさつに立った西田義則社長は、日々の連合会活動への役員を始めとした会員各社の協力を謝意を述べるとともに、同社が2021年



に創立60周年を迎えるに当たり「名実ともに業界No.1」を実現するために、大成ロテックと協力会社各社の持続的成長、事故災害の撲滅、品質トランプルの撲滅、働き方改革の推進、協力会連合会活動の活性化、環境、建設キャリアアップシステム運用向上など14項目の実現への協力を要請した。

同連合会の役員会は、例年春と秋の2回開催しているが、ことは新型コロナウイルス感染症の影響で春の開催を中止しており、今回は参加者の検温実施やアクリルパネルによる飛沫防止対策等感染防止対策を徹底した上での実施となった。